

# いたちかわらばん

通刊57号 鮰川・狹川 / 川原番・瓦版 12 春号



【版画 宗森英夫】

【桂 橋】

## 桂橋と橋名表示のしきたり

本郷小学校近くの桂橋の竣工は平成元年となっておりますが実際にはその四、五年前から供用されていたように記憶しています。設置位置の地名は中野町ですが、どうして桂橋の名前が付いたのか？橋を渡った先の造成地の地名を「桂台」とした所から命名したものでしょうか？桂橋は本郷中学校周辺の地名で、「桂」は湿地帯を表すもので低地部分の地名であると言われていました。丘の上の造成地なので台を付けて「桂台」の地名となったと思います。

ちなみに、橋の名称等の履歴を示すにはしきたりがあり、橋桁に鋳物板またはブロンズ板に制作年月日・製作会社名と橋長(15.2m)、有効幅員(13.0m)、コンクリート橋等が表示されています。橋の名前は何処に表示されているかと言うと、道路の始点から橋に向かって左側に、桂橋の場合だと「桂橋」漢字で、右側に「いたち川」河川名を、反対側から橋に向かって左側に「かつらはし」とひらがなで、右側に「竣工年月」を親柱に表示することになっています。このような表示は全国統一されており旧建設省発行の「標準(共通)仕様書」で定められています。橋名をひらがな表示する場合には濁点を付けないことになっています。「かつらはし」と表示されていますが、読む人は一般的に「かつらばし」と呼んでいます。これは昔からの習慣で河川が濁ることを嫌ったことからきていると言われていますが近年では濁点を付けた橋梁名を見ることが多くあり古い習慣を止めたようです。

水・人・子(ミジンコ)

## 日頃から水害に備えましょう(栄区役所からのお知らせ)

市民の皆様を水害から守るため、横浜市では様々な情報発信を行っています。日頃からの備えに、是非ご活用ください。

### 1 河川リアルタイム情報の発信

横浜市のホームページでは、横浜市内の河川を中心とした主要河川の24か所に設置した河川監視カメラの映像で、現在の水位や河川の様子をご覧いただくことができます。いたち川では、水神橋、城山橋の2か所にカメラを設置しています。また、映像だけではなく、水位をグラフで表したページもあり、過去のデータもご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/shobo/kikikanri/weather/top/>

または、栄区ホームページから、防災→横浜市防災情報(気象情報、水防警報など)

### 3 警報装置の設置

いたち川では横浜市内の親水拠点における水難事故防止の取組として、扇橋の水辺、稲荷森の水辺、坊中の水辺に警報装置が設置されています。このシステムは、大雨注意報・警報、現地周辺での雨量情報(30分に5mm以上)により、回転灯および音声アナウンスが作動し、河川増水への注意喚起を行います。

○大雨注意報が発表された時

・・・回転灯が光ります。

○大雨・洪水警報が発表された時、30分間に5mm以上の雨が降った時

・・・回転灯が光り放送が流れます。

### 2 防災情報eメールの配信

防災情報eメールに登録していただくと横浜市からeメールで防災情報をお知らせします。登録は、次のアドレスに空メールを送信してください。すぐに案内のメールが届きます。

[entry-yokohama@bousai-mail.jp](mailto:entry-yokohama@bousai-mail.jp)

### 4 栄区洪水ハザードマップ

境川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆様が速やかに避難していただけるよう、作成しました。栄区役所総務課防災担当でお配りしています。

## いたち川OTASUKE隊 メンバー募集

私たち「いたち川OTASUKE隊」は、情報紙「いたちかわらばん」の編集・発行を通じて、いたち川への関心を高め、愛護意識を広めることを目指して活動している区民グループです。現在、メンバーを募集しています。

いたち川に関する活動に興味をお持ちの方、私たちと一緒に活動してみませんか？

◇活動日：原則毎月第4金曜日 14時～16時(栄区役所会議室)

◇活動内容：①「いたちかわらばん」の編集・発行(年間4回の季刊誌)

②いたち川にまつわるイベントの企画・運営

※平成24年度は「いたち川散策マップ」の改訂も予定しています。

◇応募方法：住所、氏名、年齢、電話番号、eメールアドレス(お持ちの方のみ)をご記入のうえ、はがき、FAX、またはeメール(sa-kikaku@city.yokohama.jp)にて栄区区政推進課までご応募ください。

発行年月  
2012年3月

通刊57号

発行: 狹川OTASUKE隊 (いたちがわおたすけたい)

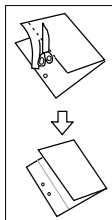
OTASUKETAI事務局事務局: 栄区役所区政推進課企画調整係 〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19  
TEL 045-894-8161 FAX 045-895-2260

栄土木事務所下水道・公園係 〒247-0007 横浜市栄区小菅谷 1-6-1  
TEL 045-895-1411 FAX 045-895-1421

(お便り・お問い合わせはこちらまで)

切り取り線

この部分を切り取ってファイルにすると便利です



## 栄区の富士山展望スポット

前回の56号で、円海山（正確には、円海山遊歩道の入口の円海山無線中継所前）、上郷市民の森（上郷市民の森の展望台）、みどりヶ丘住宅裏山の散策道の3カ所を富士山展望のおすすめ所として紹介しました。

今回は円海山と上郷市民の森について述べたいと思います。2月中旬に改めて円海山からの展望を楽しみました。その日は快晴の寒い日でした。8時に展望地点に着きましたら、遊歩道には自動車が増え、途中の道路にも不法駐車が目につきます。頂上の遊歩道にはカメラを持った人たちが次々に上がってきます。狭い遊歩道に10人ほどの人がカメラを持って右往左往して撮影ポイントを探していました。

雪を被った雄大な富士山を中心に左前方（南）から箱根山地の駒ヶ岳、早雲山～明神ヶ岳、金時山、右手前方（北・東）に丹沢山地の山々が続く大パノラマが望まれ、うっとりする景観です。

さてと、カメラを富士山に向けたとたん、戸惑いました。正面の樹木がカメラの中心に入り富士山がよく見えません。位置を変えてみましたが、今度はほかの樹木がやはりカメラの邪魔をしています。数年前までは樹木もこれほど大きくなかったから、もっときれいに見れたらと思うのがっかりしました。富士山展望写真を撮りにここに来たカメラマンにとってはやりきれない気持ちになります。

そんな訳でカメラでの富士山展望撮影を中断して、畑を抜け北側の展望を見ることにしました。横浜の市街地が一望でき、MM21のランドマークタワーとその周囲の高層ビル群、根岸の石油工業施設～磯子の埋め立地～東京湾がきれいに俯瞰できます。近くの地形も2～3km離れた地点の高所から望むと、ずいぶん違った地形に見えることに驚きました。

## ダイヤモンド富士

富士山の山頂から太陽が出る瞬間、ダイヤモンドが光り輝くような光彩が見られることから、ダイヤモンド富士と言われています。太陽が出る瞬間だけでなく、逆に太陽が富士山頂に沈む瞬間にも同様に光彩が見られます。富士山が見える地域で、富士山の西側では日の出の瞬間にダイヤモンド富士が見られ、富士山の東側では日没のダイヤモンド富士を見ることができます。したがって、神奈川県では日没のダイヤモンド富士しか見ることが出来ません。

富士山が見える地域のうちの場所から、どの時期にダイヤモンド富士が見られるのだろうか。太陽が地平から顔を出す位置は毎日少しずつ動いています。冬至に東南東から昇り、春分には真東に移り、夏至には一年のうちで最も北から太陽が昇ります。さらに秋分から冬至へと季節が進むと、逆に南へと

移っていき、一年をかけて元に戻ります。

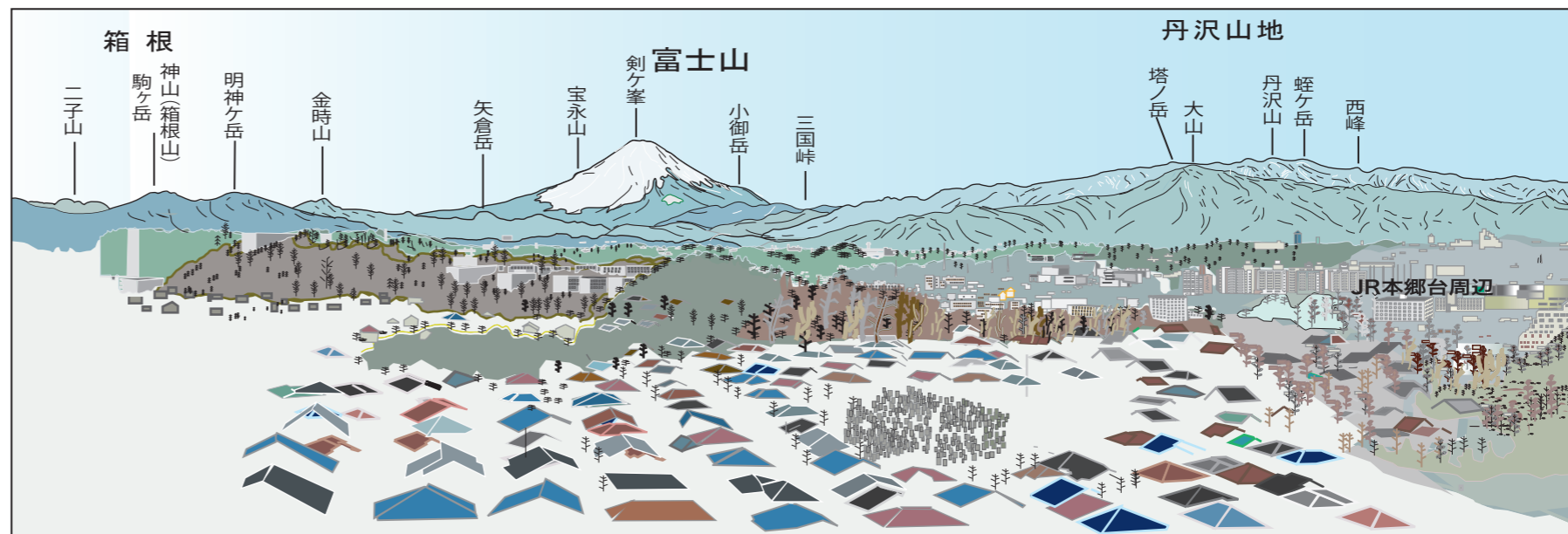
したがって、上郷市民の森の展望台からダイヤモンド富士が見ることができる時期は、富士山頂上の剣ヶ峰の緯度北緯35度21分38秒と上郷市民の森展望台広場の緯度が偶然にほぼ同じあるので、富士山頂上の真東の方位に森の展望台があり、展望台からみれば真西に富士山頂上があることとなります。森の展望台からダイヤモンド富士が見られるのは春分の日と秋分の日の日没時に、天気が良ければ見ることが出来ます。しかし、富士山頂上周辺では上昇気流が常にあることから3月中旬～10月頃までは雲がかかることが多く、秋分の日にダイヤモンド富士が見られることは稀です。春分の時期でも、頂上に雲がなくきれいなダイヤモンド富士が見られたのは、近年では2005、2007、2009年など2

～3年に一度の確率です。

東京と神奈川県のおもな所からダイヤモンド富士が見られる日時を示すと次のようになります。

- 都庁展望室：2月1日16時55分
- NHK放送センター：2月6日16時59分
- 貿易センター：2月9日17時5分
- 横浜ランドマークタワー：3月9日17時29分
- 明治学院大学望遠橋：3月20日17時37分
- 円海山、上郷市民の森：3月24日17時41分
- 江ノ島灯台：4月5日17時49分
- 森戸海岸：4月8日17時42分
- 長者ヶ崎：4月11日17時56分

（田代博監修「富士山展望百科」実業之日本社1998ほかによる）



住居に隣接している上郷市民の森は毎日の散歩コースであり、展望台からの富士山展望は日課となっています。毎日見ている富士山もくまなく晴れた日の富士山に出会う事は一年に数回です。そんな好条件の日、前日が風雨で当日はきれいに晴れた冬の季節です。そんな好条件の日でも、きれいに晴れた富士山を見ることが出来るのは早朝から9時頃までです。10時頃になると霞んでいきます。冬の季節以外にきれいな富士山を臨むことが出来るのは稀です。

日本の象徴である富士山が世界遺産に登録され、真に世界のなかでの日本の象徴となる日を期待しています。（谷溪）

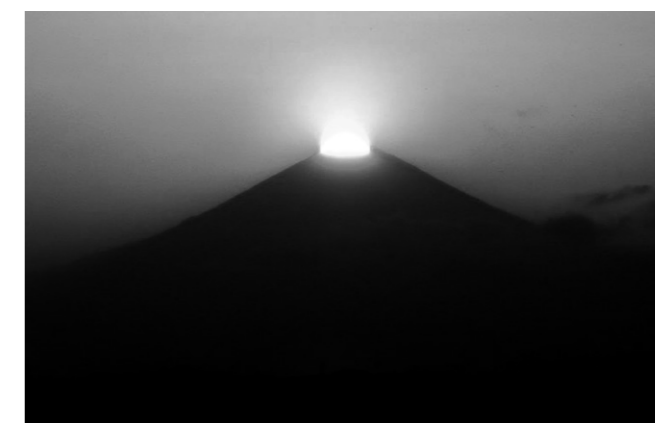
上の富士山展望図は、上郷市民の森の展望台から撮影した写真を基に作図した展望図。左右の長さを30%縮小しています。



円海山遊歩道入口付近、北側から横浜市都心部を望む。



円海山での富士山展望、前面の樹木は日本庭園のつもり。



上郷市民の森展望台でのダイヤモンド富士、2007年